



2024年3月28日

各 位

会 社 名 株式会社ウイルプラスホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 成瀬 隆章
 (コード番号：3538 東証スタンダード市場)
 問合せ先 取締役 経営戦略本部長 宇田川 宙
 (TEL. 03-5730-0589)

株式会社ENGの株式の取得(子会社化)に関するお知らせ

当社は、2024年3月28日開催の臨時取締役会において、以下のとおり、株式会社ENG(以下、「ENG」)の発行済株式の51%を取得し、同社を子会社化することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式の取得の理由

当社グループのミッションとして、輸入車のある生活を提案し、より多くの皆様と豊かさ・楽しさ・喜びを分かち合い、関わる全ての人々を温かい笑顔に変えていく挑戦を続けることを掲げています。また当社グループの中長期成長戦略においては、M&Aを成長戦略の柱とし、M&Aによる事業の拡大を目指しております。

ENGは創業以来、マレーシア・その他国々への中古車輸出業者の先駆的存在としての実績を基に、安定した商流と市場シェアを維持しております。

当社グループは輸入車ディーラーとして、ENGを介して下取車を海外向けに販売するルートを持つことで下取価格の競争力を高める一方、ENGにおいては、輸出可能な車種の範囲を広げることにより、これまで以上に顧客獲得の機会を広げることが可能です。当社においても掲げるミッションの通り、海外の顧客に対して輸入車のある生活を提案できる新たな機会となります。また、主に「輸入車ディーラー事業」を営む当社に、事業ポートフォリオの一つとして、「中古車輸出事業」が加わることで、企業全体における為替リスクの平準化が期待できます。

本件実行により、今後、両社の経営資源や経験を共有し、両社のビジネスのさらなる発展を目指して参ります。

2. 異動する子会社(ENG)の概要

(1)	名 称	株式会社ENG	
(2)	所 在 地	東京都千代田区麴町五丁目3番地23	
(3)	代表者の役職・氏名	牧野 新一郎	
(4)	事 業 内 容	日本の中古車のマレーシア・その他国々への輸出事業 日本国内の中古車買取・卸売業	
(5)	資 本 金	10百万円	
(6)	設 立 年 月 日	2008年1月31日	
(7)	大株主及び持株比率	牧野 新一郎(96.3%) 他個人1名	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
		人 的 関 係	該当事項はありません。
		取 引 関 係	該当事項はありません。

(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
決算期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
連結純資産	1,546百万円	1,945百万円	2,318百万円
連結総資産	4,590百万円	4,527百万円	5,287百万円
1株当たり連結純資産	1,546,036円	1,944,869円	2,318,958円
連結売上高	16,133百万円	29,327百万円	28,902百万円
連結営業利益	164百万円	836百万円	612百万円
連結経常利益	451百万円	1,178百万円	602百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	282百万円	399百万円	374百万円
1株当たり連結当期純利益	281,661円	398,833円	374,089円
1株当たり配当金	0	0	0

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏名	牧野 新一郎 他個人1名※
(2) 住所	東京都渋谷区
(3) 上場会社と当該個人の関係	記載すべき資本関係、人的関係、取引関係はありません。

※他個人1名につきましては、株式の取得割合が小さく、相手先との守秘義務契約に基づき非開示とさせていただきます。なお、(3)上場会社と当該個人につきましては、記載すべき資本関係、人的関係、取引関係はございません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	－株 (議決権の数：－個) (議決権所有割合：－%)
(2) 取得株式数	510株※ (議決権の数：510個)
(3) 取得価額	株式会社ENGの普通株式 1,632百万円
(4) 異動後の所有株式数	510株 (議決権の数：510個) (議決権所有割合：51.0%)

※来年以降、牧野新一郎氏から株式を追加取得し、最終的に完全子会社化することを前提としております。

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2024年3月28日
(2) 契約締結日	2024年3月28日
(3) 株式譲渡実行日	2024年4月25日(予定)

6. 今後の見通し

本株式取得は、2024年6月末を連結会計上のみなし取得日とする予定であるため、連結業績への取込は2025年6月期第1四半期からとなります。本件株式取得による2024年6月期の連結業績に与える影響はありません。なお、2025年6月期における業績への影響が判明または開示すべき事実が発生した場合には速やかに開示致します。

以上



適時開示 補足説明資料

株式会社ウイルプラスホールディングス

2024年3月28日

1

【**成長市場**（中古車輸出事業）へ新規投資】
市場全体の成長に加えて、海外の巨大マーケットへの足掛かりを確保

2

【事業ポートフォリオ拡大】
輸出ビジネスが加わることにより、**為替リスクの平準化**

3

【事業シナジー：下取り価格強化、遊休施設の活用、**ENG社の信用補完**】
当社の信用力を活用し、ビジネスの拡大、収益性の改善が見込まれる

2008年の創業以来、マレーシア向け中古車輸出を中心とし、仕入・販売チャンネルを多角化し、拡大させることで事業成長を継続

基本情報

社名： 株式会社ENG

住所： 東京都千代田区麹町5-3-23 日テレ四谷ビル 6F

設立： 2008年1月31日

代表者： 牧野 新一郎

資本金： 10百万円

- 事業概要：
- 日本の中古車のマレーシアへの輸出事業
 - 国内オート・オークション市場での中古車取引事業
 - 店舗での中古車小売事業
 - 自社サイトでの中古車買取事業

事業拠点： 本社、横浜事業所、大阪事業所、名古屋営業所
横浜港大黒ふ頭ヤード、大阪港夕凧ヤード、野田ヤード
engcar 野田店

沿革

2008年： 現代表取締役の牧野氏が当社を設立

2012年： マレーシア向け商用車販売を目的として(株)リンクスを設立

2014年： リース事業開始を目的としてプレミアムカーリース(株)を設立

2014年： アフリカ向け販売を目的として(株)トムストレーディングを設立

2015年： 自動車パーツ販売を目的として(株)吉田商会を設立

2017年： 自社での自動車買取サイトをリリース

2018年： オートボックスセブンとの中古車買取での業務提携を開始

2020年： 東海地方の中古車買取拠点として、名古屋事務所を開設

2020年： 国内向け小売店舗「engcar」を千葉県野田市にオープン

- 22年度はコロナ正常化に伴い、中古車輸出ビジネスが回復。半導体不足による新車供給不足、中古車相場高騰もあり、業績は過去最高益
- 23年度は中古車相場の反動や輸送コスト上昇により、利益率が低下するものの高水準を維持
- 財務体質は健全、**高い総資産回転率により高収益性**

	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
連結純資産	1,546百万円	1,945百万円	2,318百万円
連結総資産	4,590百万円	4,527百万円	5,287百万円
総資産回転率	3.5回	6.5回	5.5回
連結売上高	16,133百万円	29,327百万円	28,902百万円
連結営業利益	164百万円	836百万円	612百万円
連結経常利益	451百万円	1,178百万円	602百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	282百万円	399百万円	374百万円

株式会社ENGの51%の株式を1,632,000,000円にて取得 連結子会社化

ポイント

- ◎創業者である牧野氏は、引き続き事業を継続
- ◎残り株式も段階的に取得し、将来的には100%取得予定
⇒追加株式取得対価は、ENG社の将来の業績に連動
- ◎今期への業績の影響は軽微。主に、M&A関連費用。

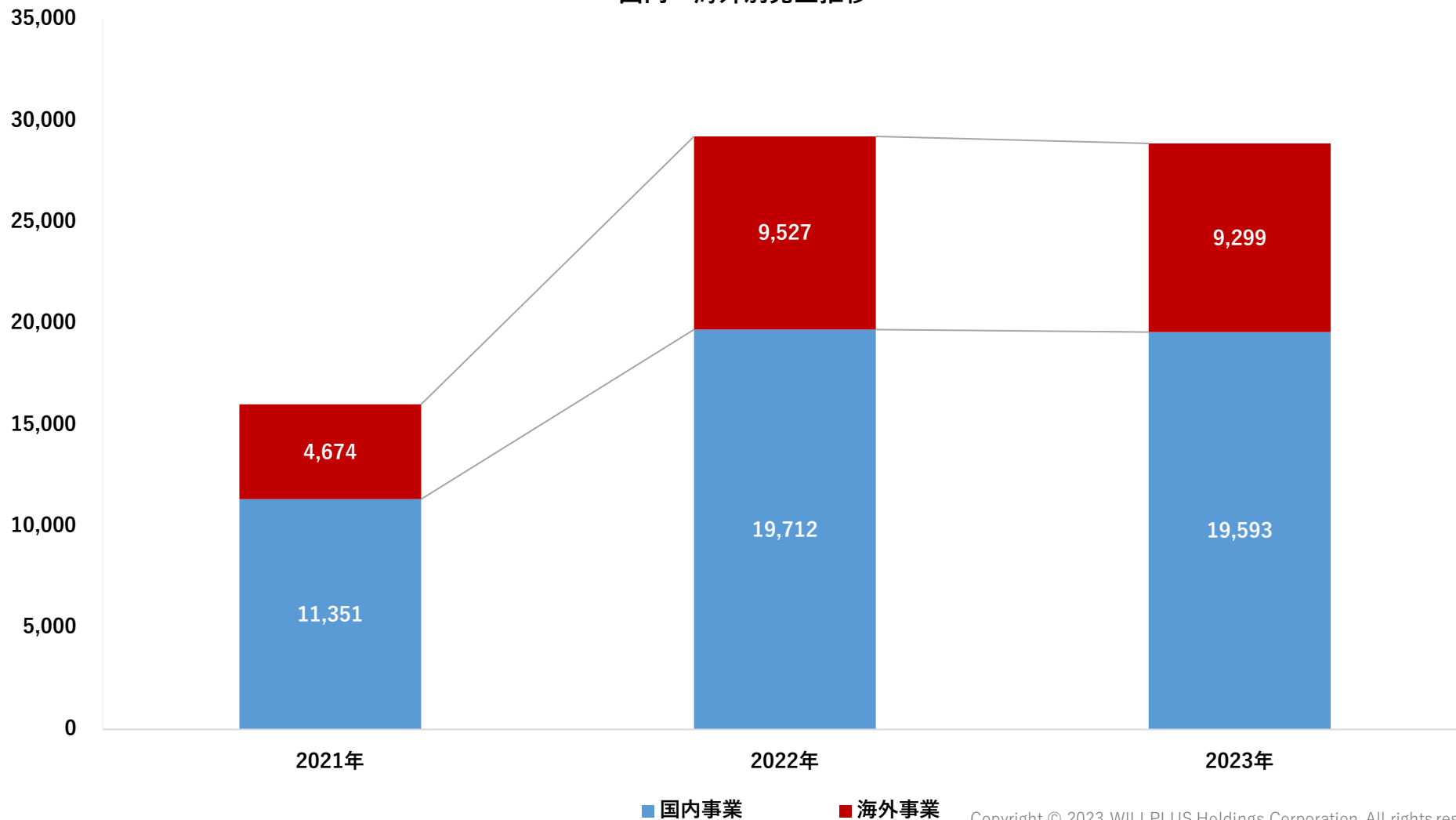
企業価値
向上
M & A

過去3年間の売上推移

- 22年度はコロナ正常化による中古車輸出ビジネスの回復、中古車相場高騰により大幅増収
- 今後は、当社グループに入り、**信用力が補完**されることで、**更なる売上高の拡大**を目指す

(単位：百万円)

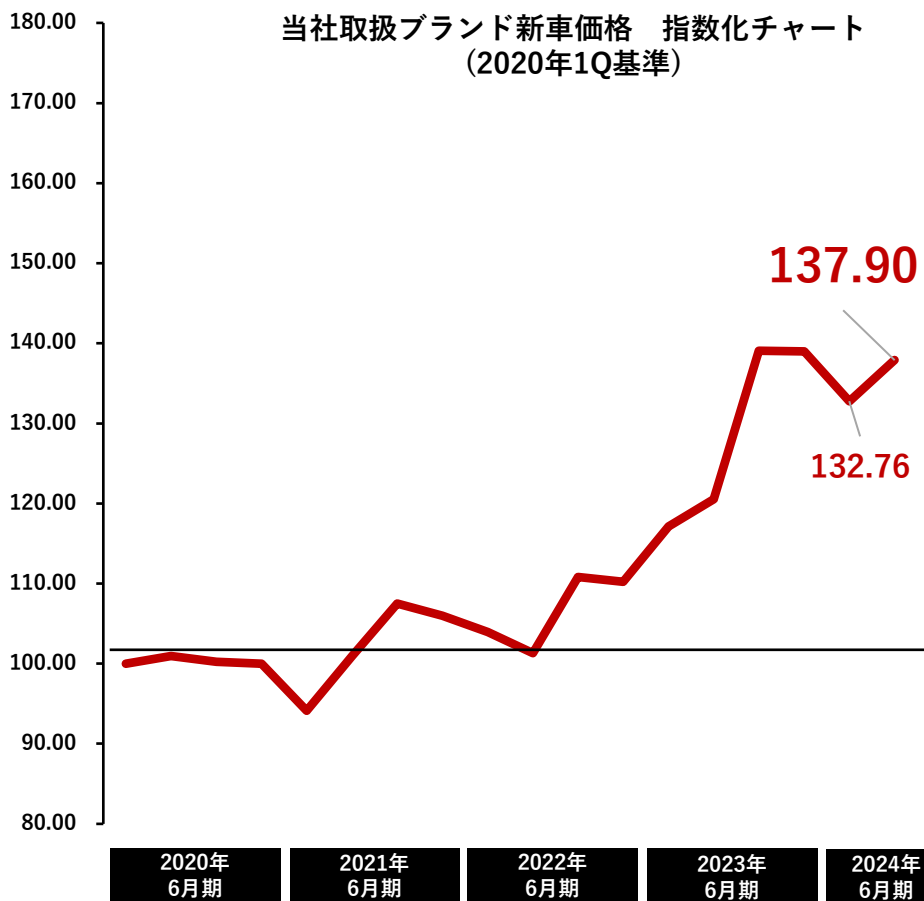
国内・海外別売上推移



- 円高局面に有利な「輸入車販売業」/円安局面に有利な「輸出卸売事業」
- 国内輸入車価格は、円安、世界的なインフレにより上昇傾向
- 国内中古車価格も上昇傾向だが、ドルベースで換算すると過去4年間ほぼ横ばい

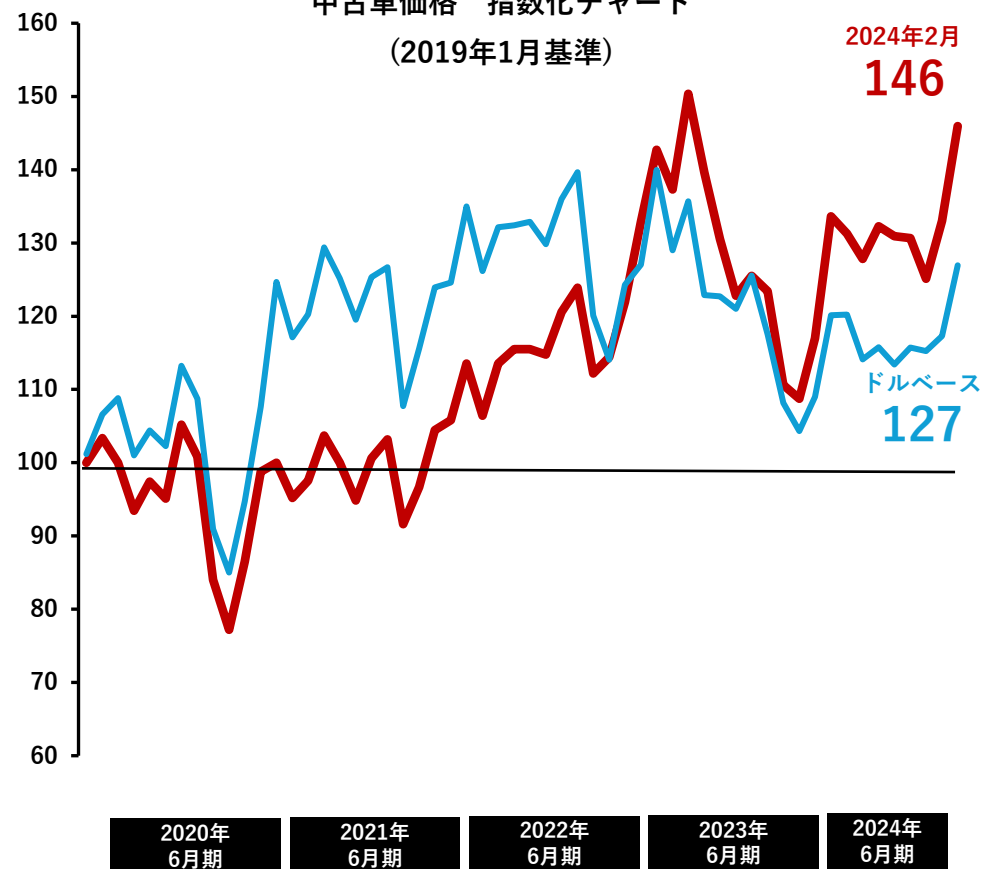
輸入車ビジネス (輸入車ディーラー)

当社取扱ブランド新車価格 指数化チャート
(2020年1Q基準)



輸出ビジネス

中古車価格 指数化チャート
(2019年1月基準)



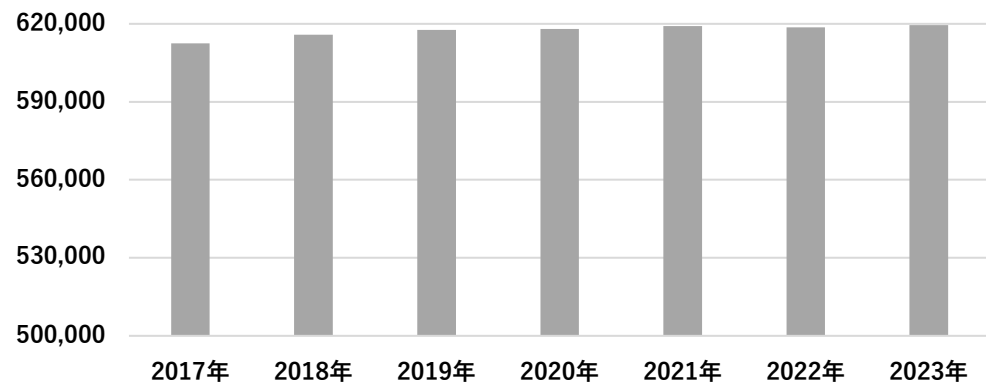
中古車輸出ビジネスは、成長市場①

- 国内中古車市場は、保有台数、販売台数を見ても**頭打ち**
- これから人口減少が予測される日本に対し、アジア全体では、2055年まで増加が予測される
→**中古車輸出ビジネスに活路**

(単位：百台)

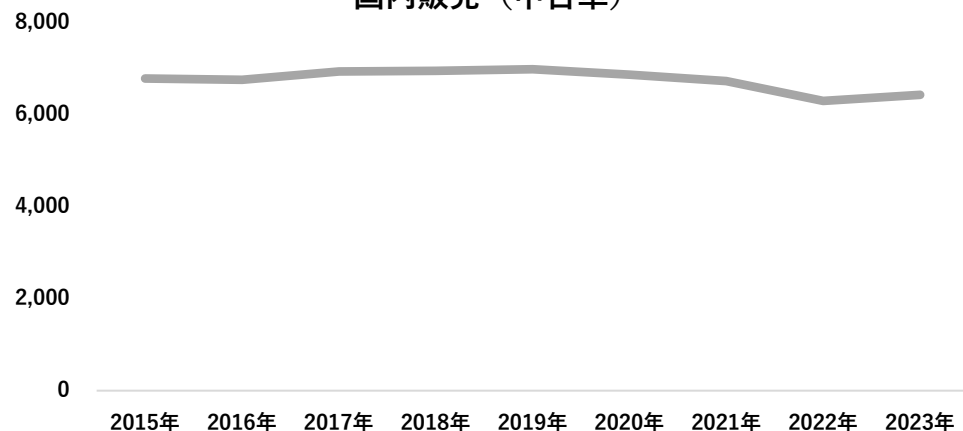
自動車の国内保有台数の推移

■乗用車（軽含む）



(単位：千台)

国内販売（中古車）

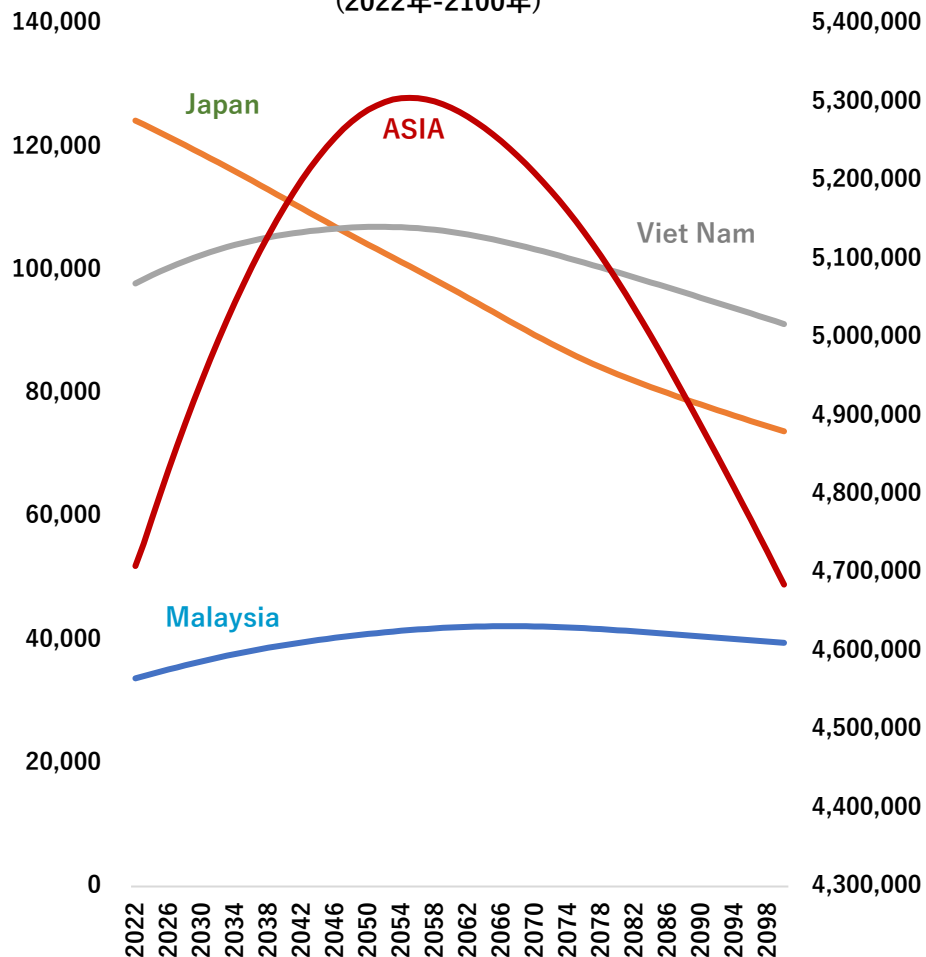


(単位：千人)

左軸：国別

世界人口予測 (2022年-2100年)

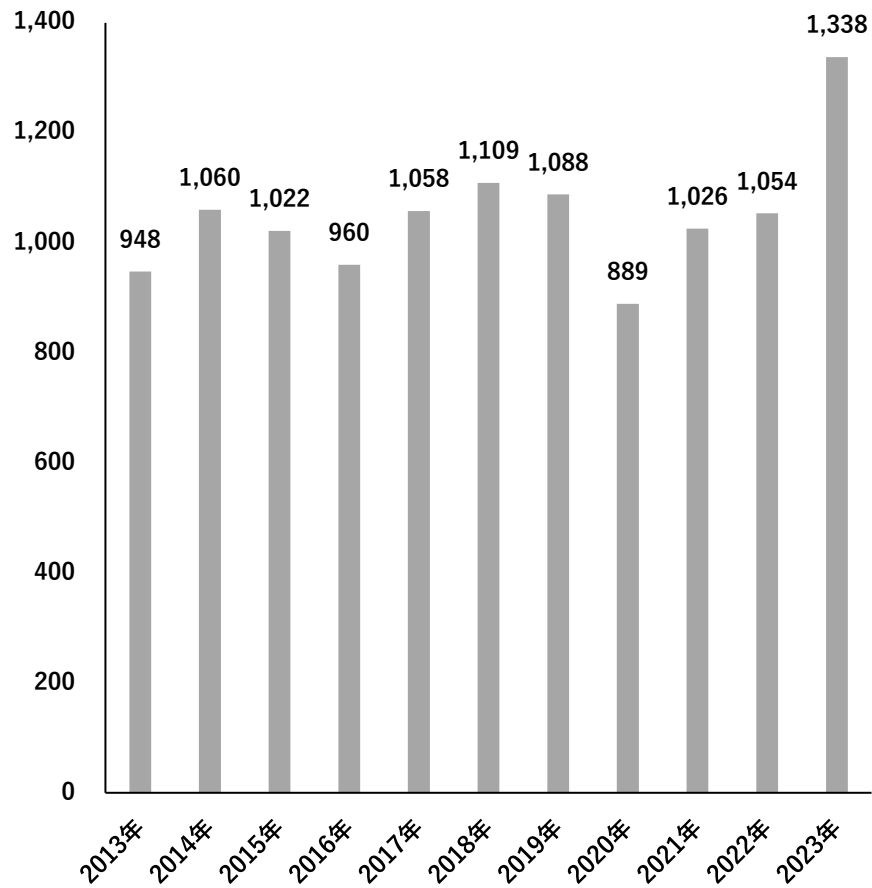
右軸：ASIA



中古車輸出市場は、23年度に急拡大。「世界人口の拡大」と「所得水準の高まり」と共に市場の拡大が見込まれる

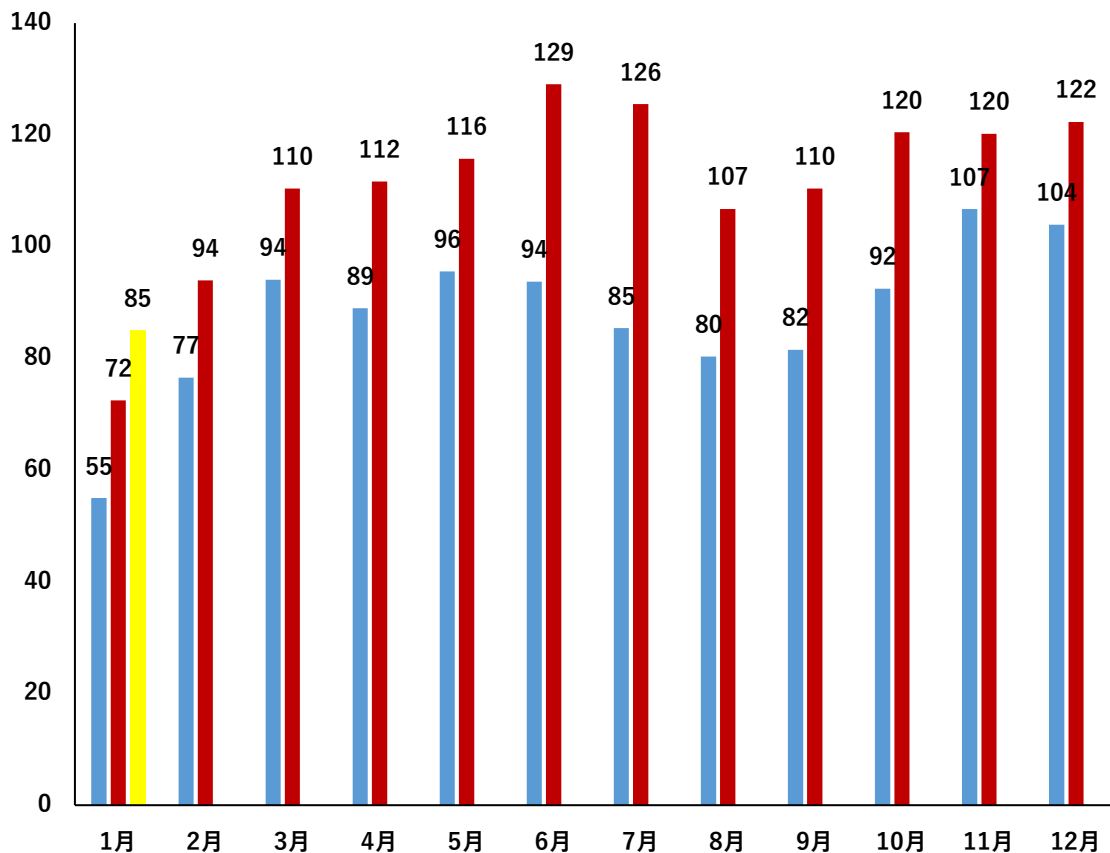
中古車輸出市場規模（全体）

(単位：千台)



2022年-2024年 月別中古車輸出

(単位：千台)



■ 2022年 ■ 2023年 ■ 2024年

- 日本からの輸出台数はコロナ禍で大きく落ち込んだが、コロナ収束に伴い回復傾向
- 2022年1月にマレーシアでの行動制限令が解除されたことで、マレーシアへの輸出は大きく増加している

(単位：千台)

